



石田 哲 議員

日本遺産認定に伴う活動

どのような事業を進めるのか？

答

文化資源と特産品を絡めて発信することが重要、関係団体と連携し事業を展開する

問

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて地域が主体となつて総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外にも戦略的に発信することに、地域の活性化を図る目的で設定され国庫補助金事業としてスタートしたものである。滋賀県は、「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」と命名し、次の通り選定された。

- ① 水と暮らしの文化
- ② 海津・西浜・知内の水辺景観
- ③ 針江・霜降の水辺景観
- ④ 大溝の水辺景観
- ⑤ 水と祈りの文化
- ⑥ 白鬚神社
- ⑦ シコブチ信仰
- ⑧ 水と食の文化
- ⑨ 湖魚の漁法・郷土料理

答

高島市の自然環境は何ものにも代え難い自然豊かな生活様式そのものである。文化的景観を基に「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中心に据え、具体的にどのような事業を進めるのか伺う。

これらの資源を大切に守り、文化資源だけではなく特産品などを絡めて高島のブランドを発信していくことが重要と考え、総合戦略のマネジメント組織として設置するサステイナブル・オフィスを中心に、各事業に関わる関係団体と連携し事業展開を進めていきます。

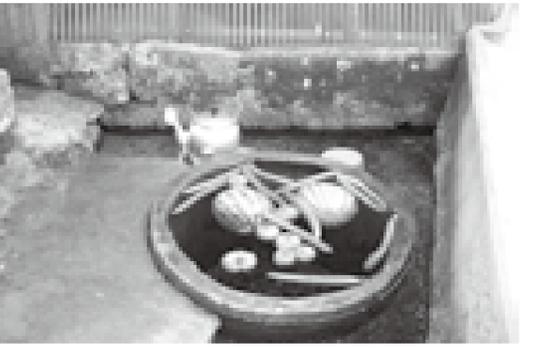
重要な文化的景観に続いて市民の皆様が大切に守って来られた水にまつわる文化と生活様式が日本遺産に認定され、市民各位の地元に対する価値観を再認識していただく良いきっかけになったと考えています。



白鬚神社のなるこまいり
(数え年で2歳の子どもに本名とは別の名前を授ける神事)



追いさで漁
(コアユの群をカラスの羽がついた竿を使って「さで網」へ追い込む漁法)



新旭町針江のカバタ



澤本 長俊 議員

公共施設等総合管理計画

市民の理解を深める準備期間を検討すべきでは？

答

説明とご意見をいただく機会を設け、十分に配慮する

答 総務部長

所有する施設が築60年を迎える時期を10年単位でとらえ目標数値としたものです。

問

具体的施設の計画遂行のためには、市民の理解を深める準備期間を慎重に検討すべきと考えられるかがか。

答 総務部長

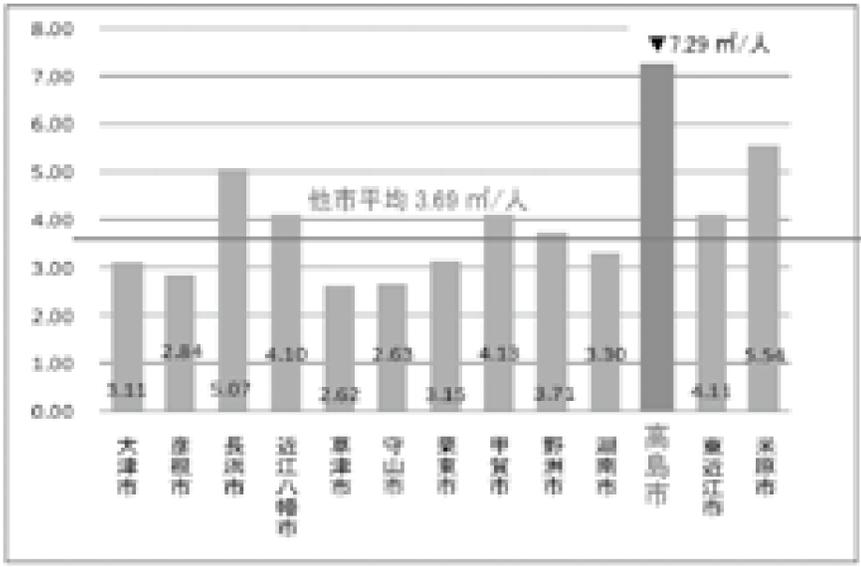
公共施設の再編は、将来のまちの骨格を形成する重要なものとなるので、計画策定には市議会や市民の皆様への説明とご意見をいただく機会を設けてまいります。さらに実施段階の際には、皆様のご理解をいた

問

実際に施設再編に着手するのは現在の中堅若手職員。現在の幹部職員は計画の重要性をしっかりと認識し、一市民に戻った時にも、地域で率先して計画の重要性を説明していただきたいと考えられるかがか。

答 総務部長

将来の厳しい財政状況や人口減少という現実を、私たちは行政の立場でしっかりと市民の皆様へ伝える義務があると思えます。また



(平成24年度公共施設状況調査(総務省)より抜粋)

県内各市の人口一人当たりの公共建築物延床面積 (㎡)
(高島市公共施設等総合管理計画より抜粋)

それが私ども行政の本旨だと思えます。なお、長期間の計画であることから、この計

画の理念をしっかりと市民の皆様にお伝えすることが大切であると考えます。